



R I. 第2620地区 静岡第2分區
三島西ロータリークラブ

週報

第2140号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市本町6-35 呉竹
TEL(055)975-3210
会長 西本 和夫 幹事 宇田川 茂



広重版画より 三島 朝霧

第2203回例会

2018.4.12晴

司会

柴崎恵子君

ロータリーソング

「我等の生業」
指揮 遠藤真道君

会長挨拶

副会長 佐野宏三君

皆さん今晩は、今年の春はいつもの年に比べて気温の寒暖差が大きくて、体調管理が大変だとおもいます。例年ゴールデンウィークに見頃になる藤の花が、各地で10日以上早く開花して祭りの関係者をあたふたさせている映像を見ました。さて、今夜の臨時総会は規定審議会の決定を受けて、当クラブが細則の変更を選択するのかもしれないか重要な会議です。皆様方の活発なご意見を伺いたいと思います。

昨年「ロータリーの友」1月号に全国のガバナー、パストガバナーをはじめシニアリーダーと言われる人達が一堂に会し、規定審議会の決定について、意見交換をした第45回ロータリー研究会のレポートが掲載されています。今ロータリーはどこへ行こうとしているのか、紙面上で国際ロータリーが規定審議会で採決をした意図は何なのか詳細に語られています。多くの会員がこの記事をご覧になっていると思いますが、この中で日本からの代議員である名古屋大須RCパストガバナー岡部氏が「ロータリーは100年の歴史を重ね、拡大と成長を続けてきた。親睦と奉仕の理想のもとに実績を刻んできたけど、統一したルールで管理することの限界がきている。各クラブに対してある程度の柔軟性を認め、クラブは5年10年先を見越した多様性の戦略をたてる必要がある」と述べています。また多くのパネラーが「ロータリーが今過渡期にあること。ロータリーは時代のニーズに合わせて、クラブや地域社会のニーズに合わせて変わらなければ生き残れないこと。しかしロータリーの核になる基本理念は決して変わっていないし、これからも変わらない」と述べています。

会社や自宅に戻りましたら、埋まっているロータリーの資料の中から昨年の「ロータリーの友」1月号を探して一読していただければ、世界や日本のロータリーの流れがわかると思います。

出席報告

	出席総数	出席率	メンバー	修正率
前々回	31/36	86.11%	34/36	94.44%
今回	30/40	75.00%	会員総数	47名

欠席者 赤池君、大石君、川名君、栗原君、鈴木(郁)君、諏訪部(照)君、千葉君、橋本君、花房君、前田(邦)君

幹事報告

幹事 宇田川茂君

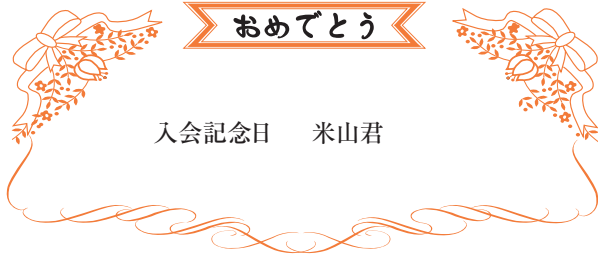
- ①本日は臨時総会です。
- ②緑の募金運動にクラブより5,000円協力いたしました。
- ③酒田東RC創立50周年記念誌が届きました。参加者にお配りいたしました。
- ④4/14(土)地区研修協議会に参加される皆様、よろしくお願いたします。

臨時総会

- 第1号議案 次年度より本クラブ例会は月2回以上にします。
第2号議案 入会金50,000円は維持継続とする。
以上2議案は承認されました。

2017~2018年度
国際ロータリー会長
イアンH.S.ライズリー

ロータリー:変化をもたらす



スマイルボックス

- ◆ 栗原君・木村君、赤池さん、台湾旅行の写真ありがとうございました。旅行の思い出が蘇り楽しく見せていただきました。
- ◆ 森崎君、最近の建設コンサルタントのテレビ、新聞等での露出度アップに感謝してスマイルします。
- ◆ 諏訪部(敏)君、まだ、生きてます。
- ◆ 遠藤(武)君、名札を忘れました。ボケてきたかも?
- ◆ 亥角君、お先に失礼します。

卓 話

台湾苗栗RC創立記念式典参加報告

西本和夫君

3月17日の台湾苗栗RC創立記念式典に36人の会員とご家族の参加を本当にありがとうございました。大変な歓迎を受けました。私も頑張って会長挨拶をすべて北京語で行いました。訪台の1週間前に通訳の穎川さんをお願いして2時間の特訓を受けました。日本語を漢文に直して、読み方をカタカナにして発音の仕方と2時間では覚えきれない挑戦でした。半分でも伝われば、こちらの努力が伝われば…と思ひまして頑張りました。内容は今年の我がクラブの創立記念式典に大勢の参加をしていただいた事、また東日本大震災での義援金と支援物資のお礼、今までの友好のお礼等を話しました。李会長をはじめたくさんの方からお褒めの言葉を頂戴しました。自慢話ですね(笑)。

いままで創立記念式典に参加されてない方はぜひとも1回参加してみてください。独特の雰囲気と熱烈歓迎を体験してみてください。

今回の台湾滞在中では関本文彦さんに大変お世話になりました。楽しい台湾旅行ができました事を御礼申し上げます。

交換中学生を受け入れて

宇田川茂君

「受け入れいいですよ!」と、栗原さん言ったものの実は不安でした。女房に言うと、食事はどうしたらいい?部屋は?布団は?土産は?...等色々言われました。が、口説き落としました。今回良かったと思うことは、事前に女房達が話し合ったお陰で予備知識を持って、事前準備ができて、迎えることができたことです。中学生到着の次の日の自由行動は着物着付けの後、4家族一緒にパノラマパークに行ったり、韭山の反射炉に行ったり、江川邸に行ったり、夕食は三島の台湾料理で食事をしました。子供たちと結構話したり、親同士で受け入れの情報交換ができた、経験のある佐野さんに教えていただいたりで、一緒に行動が不安を取り除いてくれました。

台湾に行ったとき、親でロータリアンの母親から、「今回は、日本に行った子供たちはみな仲良く、今でも交流が続いていて日本の話がよく出てきます。」と聞き、まずは一安心しました。

経験者の先輩が「何も気取ることなく、普段通りの自然スタイルでお迎えすればいいんだよ。」の一言で肩の重しが取れました。

苗栗では中学生の親が子供たちと出迎えてくれて、嬉しい対面をしました。土産では、柴崎さんから頂いた着物の写真が特に母親に喜ばれました。受け入れ中学生の一人の親がお店をやっている-日本でいうと中華料理店-たくさん料理を出してくれましたが、式典の後で食べられませんでした。相手の好意にお腹も胸も一杯でした。

式典後は、九份・故宮博物館・台北101等 私達夫婦初めての場所に連れて行ってもらい、この5月で結婚40周年になるわけですが、「楽しいルビー婚旅行だったね。」と女房と話しています。

今回、一緒に行った皆様、大変お世話になりました。

ポール・ハリス・フェロー表彰



梶山 豊君 柴崎恵子君 宇田川茂君

(週報担当:佐々木雅浩)